

第19回： 水質予測モデルの基礎と実際

開催日： 1991年8月20日～21日 / 会場： 「北とびあ」東京都

開催趣旨： 水質予測に関する調査・研究の分野では、コンピュータの普及とともにモデルの開発が盛んに行なわれてきました。近年、湖沼水質保全特別措置法が制定され、これに伴う湖沼水質保全計画が策定される等、水質予測の重要性が年々増しております。そこで、今回は、水質予測に初めて取り組もうとしている方々、ならびに現場実務者を対象に、水質予測モデルの作成とコンピュータを用いた計算手法、予測値と実測値との検証と評価ならびにモデルの現場への適用方法等について理解を得ることを目的に、平易でわかりやすいセミナーを企画いたしました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 湖沼水質保全計画とその見直しについて（中野実／環境庁・水保局）
- 水質予測手法の概論(1)—数理モデルによる水質予測の意義と限界—（岡田光正／広島大・工）
- 水質予測手法の概論(2)—水質予測の手順と利用例—（岡田光正／広島大・工）
- 拡散モデルの河川、沿岸海域への適用事例（三船修司／日本データサービス(株)）
- パソコンをもちいた簡単な生態系モデルの構築（大西行雄／滋賀県琵琶湖研）
- 有限要素法による流体解析の基礎（川原睦人／中大・理工、平野廣和／三井造船(株)）